

【中期目標期間評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理等

自己評価の区分		判断の目安
IV	中期目標を上回っている	目標の達成状況が100%超
III	おおむね中期目標どおり達成している	目標の達成状況が90%超100%以下
II	中期目標を下回っている	目標の達成状況が60%超90%以下
I	中期目標を大幅に下回っている	目標の達成状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

項目No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価	自己評価	評価委員会の検証																																																																									
				論点	検証(案)																																																																								
01	<p>1-1-1 より質の高い医療の提供</p> <p>(2) 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更に伴う医師、看護師、コメディカル等の採用や配置の弾力的運用を行う。専門的知識を有する職員に対して、その専門性に応じた処遇が可能となる人事給与制度を構築することで、積極的に外部からの登用を図る。また、医師事務作業補助(医療クラーク)及び病棟・外来看護事務補助(看護クラーク)を拡充する。</p>	<p>* 医療の物的、人的な質向上に関する事項</p> <p>より質の高い医療を提供するため、必要な高度先進医療機器を整備するとともに、それらの保有状況及び更新時期等について、基本的な計画を作成している。加えて、当センターの診療方針、財務状況等経営的な視点も考慮しつつ、既存機器の稼働状況、費用対効果を勘案するとともに、人材育成を見据えた視点から高度先進医療機器の整備を進めている。</p> <p>また、当センターの医療を支える医師・看護師・コメディカル等の優秀な医療スタッフを確保するため、医師補助・看護補助体制を強化した長時間勤務等の改善や増員によるローテーションの維持、地方独立行政法人化のメリットを活かした柔軟な雇用制度に積極的に取り組み、必要な職員の採用を行っている。</p> <p>職員の質の向上については、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実や国内外の先進的な大学病院等への医師の研修派遣等により医療技術の向上に努めた。また、国内外の学会への参加や資格取得、研修・セミナーへの参加を積極的に支援した。</p> <p>○ 医師、看護師、コメディカル、医師事務補助、看護補助の職員数 単位：人</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度初</th> <th>27年度初</th> <th>28年度初</th> <th>29年度初</th> <th>30年度初</th> <th>2019年度初</th> <th>増減 (26→2019)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>202</td> <td>213</td> <td>216</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>230</td> <td>+28</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(40)</td> <td>(41)</td> <td>(45)</td> <td>(44)</td> <td>(42)</td> <td>(48)</td> <td>(+8)</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>658</td> <td>694</td> <td>727</td> <td>710</td> <td>711</td> <td>763</td> <td>+105</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(68)</td> <td>(75)</td> <td>(79)</td> <td>(72)</td> <td>(70)</td> <td>(80)</td> <td>(+12)</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>192</td> <td>194</td> <td>210</td> <td>218</td> <td>232</td> <td>243</td> <td>+51</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(20)</td> <td>(19)</td> <td>(17)</td> <td>(15)</td> <td>(14)</td> <td>(11)</td> <td>(▲9)</td> </tr> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>53</td> <td>51</td> <td>52</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>+1</td> </tr> <tr> <td>看護補助</td> <td>105</td> <td>102</td> <td>102</td> <td>97</td> <td>91</td> <td>94</td> <td>▲11</td> </tr> </tbody> </table>	項目	26年度初	27年度初	28年度初	29年度初	30年度初	2019年度初	増減 (26→2019)	医師	202	213	216	220	220	230	+28	(うち非常勤)	(40)	(41)	(45)	(44)	(42)	(48)	(+8)	看護師・助産師	658	694	727	710	711	763	+105	(うち非常勤)	(68)	(75)	(79)	(72)	(70)	(80)	(+12)	コメディカル	192	194	210	218	232	243	+51	(うち非常勤)	(20)	(19)	(17)	(15)	(14)	(11)	(▲9)	医師事務補助	53	51	52	54	54	54	+1	看護補助	105	102	102	97	91	94	▲11	IV		認定看護師の着実な養成、インシデント報告数の増加など、医療の質の向上に努めている点評価できる。
項目	26年度初	27年度初	28年度初	29年度初	30年度初	2019年度初	増減 (26→2019)																																																																						
医師	202	213	216	220	220	230	+28																																																																						
(うち非常勤)	(40)	(41)	(45)	(44)	(42)	(48)	(+8)																																																																						
看護師・助産師	658	694	727	710	711	763	+105																																																																						
(うち非常勤)	(68)	(75)	(79)	(72)	(70)	(80)	(+12)																																																																						
コメディカル	192	194	210	218	232	243	+51																																																																						
(うち非常勤)	(20)	(19)	(17)	(15)	(14)	(11)	(▲9)																																																																						
医師事務補助	53	51	52	54	54	54	+1																																																																						
看護補助	105	102	102	97	91	94	▲11																																																																						

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●)、法人の自己評価)						自己 評価	評価委員会の検証																																								
									論 点	検 証 (案)																																							
		○ 医師の研修派遣数 単位：件 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>2019年度</th> <th>増減 (26→ 2019)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門医研修等</td> <td>778</td> <td>916</td> <td>804</td> <td>876</td> <td>877</td> <td>843</td> <td>+65</td> </tr> <tr> <td>派遣</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>▲3</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>▲5</td> </tr> </tbody> </table>						項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減 (26→ 2019)	専門医研修等	778	916	804	876	877	843	+65	派遣	4	3	4	2	3	1	▲3	受入	7	5	6	5	3	2	▲5										
項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減 (26→ 2019)																																										
専門医研修等	778	916	804	876	877	843	+65																																										
派遣	4	3	4	2	3	1	▲3																																										
受入	7	5	6	5	3	2	▲5																																										
		○ 認定看護師・専門看護師数 単位：人 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度末</th> <th>27年度末</th> <th>28年度末</th> <th>29年度末</th> <th>30年度末</th> <th>2019年度 末</th> <th>増減 (26→2019)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師数</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>+9</td> </tr> <tr> <td>専門看護師数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>±0</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>+1</td> </tr> <tr> <td>特定行為看護師数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>+1</td> </tr> </tbody> </table>						項目	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	2019年度 末	増減 (26→2019)	認定看護師数	18	20	21	23	24	27	+9	専門看護師数	3	3	3	3	3	3	±0	認定看護管理者	1	2	2	2	2	2	+1	特定行為看護師数	0	0	0	0	0	1	+1		
項目	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	2019年度 末	増減 (26→2019)																																										
認定看護師数	18	20	21	23	24	27	+9																																										
専門看護師数	3	3	3	3	3	3	±0																																										
認定看護管理者	1	2	2	2	2	2	+1																																										
特定行為看護師数	0	0	0	0	0	1	+1																																										
		○ コメディカルの研修参加数 単位：人 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>2019年度</th> <th>増減 (26→2019)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>510</td> <td>547</td> <td>687</td> <td>647</td> <td>758</td> <td>639</td> <td>+129</td> </tr> </tbody> </table>						26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減 (26→2019)	510	547	687	647	758	639	+129																												
26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減 (26→2019)																																											
510	547	687	647	758	639	+129																																											
	(9) 医療安全対策の充実 医療安全管理委員会や医療安全部において、インシデント・アクシデント報告の収集・分析に努め、医療安全対策の充実を図る。また、各部署で発生するインシデント・アクシデント報告について、根本原因分析を行い、安全対策上の課題解決について支援する。	＊ 医療安全対策、院内感染防止対策に関する事項 医療安全対策として、必要に応じてマニュアルの見直しを行うとともに、その遵守状況を把握し、マニュアルの運用遵守を徹底した。 医療事故調査に当たっては、重大事故のみならず、すべての死亡例について医療安全部で検討し、必要があれば担当医等にヒアリングを実施している。 また、インシデント・アクシデント報告を収集・分析し、医療安全部や医療安全管理委員会で検討したうえで、重大な事故につながらないように発生原因を明らかにして、再発防止とリスクを回避する方策等を全職員に通知し、情報共有している。 医療安全意識醸成のために、全職員を対象とした医療安全研修会を月1回以上開催し、全職員が最低2回以上参加して																																															

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																																												
		自己 評価	論 点	検 証(案)																																																																																
	<p>アクシデント発生時には、速やかに事故調査を実施し、発生要因を明らかにするとともに、医療事故の再発防止とリスクを回避するための方策を検討し、改善方策を共有化する。</p> <p>安全管理に関する研修会の内容を充実させ、事故予防の徹底と安全意識の向上を図る。</p>	<p>いる。研修会の内容についても充実を図るとともに、医療安全に関するポスター掲示により、さらなる安全意識の向上を図っている。</p> <p>院内感染防止対策として、感染制御チーム(ICT)が中心となり、院内感染防止マニュアルを改訂し、マニュアルに基づいて週1回の院内ラウンドを行い、環境面における改善指導を行うとともに「感染制御システム」を活用して、感染症の発生状況、抗生剤の使用状況、臨床経過等を多面的かつ迅速的に把握し、効果的な感染制御ができる体制を継続している。</p> <p>平成28年度に発生した新生児センターにおけるMRSA感染の対策として、病棟の拡張工事を行った。</p> <p>さらに、感染症内科医を中心に、毎日細菌検査ミーティングを開催し、抗菌薬の適正使用を推進するとともに、耐性菌発生時には、早期の感染防止対策を指導している。</p> <p>また、医療安全と同様に意識醸成のために、全職員を対象とした感染防止研修会を毎月開催し、全職員が最低2回以上参加している。</p> <p>○ インシデント・アクシデント件数 単位：件</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>2019年度</th> <th>増減 (26→ 2019)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>2,990</td> <td>3,315</td> <td>3,101</td> <td>3,060</td> <td>3,468</td> <td>3,965</td> <td>+975</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>54</td> <td>78</td> <td>86</td> <td>99</td> <td>127</td> <td>112</td> <td>+58</td> </tr> <tr> <td>総数</td> <td>3,044</td> <td>3,393</td> <td>3,187</td> <td>3,159</td> <td>3,595</td> <td>4,077</td> <td>+1,033</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 院内研修の実施状況</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>2019年度</th> <th>増減 (26→ 2019)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医療安全研修会</td> <td>回数</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>+1</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>3,363</td> <td>3,293</td> <td>3,621</td> <td>2,960</td> <td>2,996</td> <td>3,320</td> <td>▲43</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">感染防止研修会</td> <td>回数</td> <td>16</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>45</td> <td>38</td> <td>45</td> <td>+29</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>2,592</td> <td>3,011</td> <td>3,575</td> <td>3,057</td> <td>2,971</td> <td>3,026</td> <td>+434</td> </tr> </tbody> </table>	項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減 (26→ 2019)	インシデント	2,990	3,315	3,101	3,060	3,468	3,965	+975	アクシデント	54	78	86	99	127	112	+58	総数	3,044	3,393	3,187	3,159	3,595	4,077	+1,033	項目		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減 (26→ 2019)	医療安全研修会	回数	16	16	16	18	16	17	+1	参加者	3,363	3,293	3,621	2,960	2,996	3,320	▲43	感染防止研修会	回数	16	29	25	45	38	45	+29	参加者	2,592	3,011	3,575	3,057	2,971	3,026	+434							
項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減 (26→ 2019)																																																																													
インシデント	2,990	3,315	3,101	3,060	3,468	3,965	+975																																																																													
アクシデント	54	78	86	99	127	112	+58																																																																													
総数	3,044	3,393	3,187	3,159	3,595	4,077	+1,033																																																																													
項目		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減 (26→ 2019)																																																																												
医療安全研修会	回数	16	16	16	18	16	17	+1																																																																												
	参加者	3,363	3,293	3,621	2,960	2,996	3,320	▲43																																																																												
感染防止研修会	回数	16	29	25	45	38	45	+29																																																																												
	参加者	2,592	3,011	3,575	3,057	2,971	3,026	+434																																																																												
09	1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 (2) 救急救命士の病院実習など地	<p>* 地域医療従事者への教育に関する事項</p> <p>県内の医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生、コメディカルを目指す学生の実習の受入れ体制を整備し、積極的に実習を受け入れている。</p> <p>併せて地域医療への協力・支援として、周辺市消防や自衛隊他の救急救命士養成実習に積極的な支援を行っている。</p>	III		看護学生の実習受入が減少しているため、取組を強化されたい。																																																																															

項目No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価						自己評価	評価委員会の検証																																																
		論点	検証(案)																																																						
	域医療従事者への研修の実施及び充実 救急救命士など地域医療従事者の養成を図るため、救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施するなど、病院での実習の受入れ体制を整備し、積極的に受け入れる。	○ 医学生等の実習受入数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>2019年度</th> <th>増減 (26→2019)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生(実習)</td> <td>36</td> <td>53</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>+4</td> </tr> <tr> <td>医学生(病院見学)</td> <td>81</td> <td>83</td> <td>90</td> <td>100</td> <td>122</td> <td>146</td> <td>+65</td> </tr> <tr> <td>看護学生(延べ)</td> <td>10,217</td> <td>9,475</td> <td>9,520</td> <td>8,676</td> <td>8,924</td> <td>7,786</td> <td>▲2,431</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>81</td> <td>74</td> <td>102</td> <td>101</td> <td>94</td> <td>88</td> <td>+7</td> </tr> <tr> <td>救急救命士</td> <td>62</td> <td>74</td> <td>59</td> <td>26</td> <td>45</td> <td>44</td> <td>▲18</td> </tr> </tbody> </table>						項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減 (26→2019)	医学生(実習)	36	53	42	42	40	40	+4	医学生(病院見学)	81	83	90	100	122	146	+65	看護学生(延べ)	10,217	9,475	9,520	8,676	8,924	7,786	▲2,431	コメディカル	81	74	102	101	94	88	+7	救急救命士	62	74	59	26	45	44	▲18		
項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減 (26→2019)																																																		
医学生(実習)	36	53	42	42	40	40	+4																																																		
医学生(病院見学)	81	83	90	100	122	146	+65																																																		
看護学生(延べ)	10,217	9,475	9,520	8,676	8,924	7,786	▲2,431																																																		
コメディカル	81	74	102	101	94	88	+7																																																		
救急救命士	62	74	59	26	45	44	▲18																																																		
14	1-5-2 他県等の医療救護への協力 (1) 大規模災害に対応するためのDMAT体制の確保と訓練・研修 DMATの2班体制を維持し、岐阜県内外のDMATとの訓練・研修に派遣することにより、質の向上と維持を図る。 また、災害対策備品の整備及び備蓄保管場所の整備を行う。 (2) 大規模災害発生時のDMATの派遣 大規模災害時における岐阜県の要請に基づきDMATを派遣する。 2 診療情報のバックアップシステムの構築	医師、看護師、業務調整員で構成された災害派遣医療チーム(DMAT)を3班編成し、国主催の訓練等に派遣している。また、岐阜県地域防災計画に基づく医療救護班を編成し、必要な機能の整備を図っている。 ○ DMAT隊員数(年度末時点) 単位:人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>2019年度</th> <th>増減 (26→2019)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>+6</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>+4</td> </tr> <tr> <td>業務調整員</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>+4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>21</td> <td>25</td> <td>+14</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成28年度の熊本地震発生時には、被災地に医療救護班を派遣し、避難所において医療支援を行った。 派遣者:5名(医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名) 派遣期間:平成28年4月20日~26日</p> <p>2019年度の台風19号被害においては、岐阜県からの要請に基づき長野県に迅速にDMATを派遣した。 派遣者:5名(医師1名、看護師2名、リハビリ技師1名、事務1名) 派遣期間:2019年10月13日~14日</p>						機関名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減 (26→2019)	医師	3	4	4	4	7	9	+6	看護師	5	4	5	6	7	9	+4	業務調整員	3	4	4	5	7	7	+4	合計	11	12	13	15	21	25	+14	IV	DMAT隊員数は、医師・看護師・業務調整員いずれも増加しており、熊本県、長野県にも派遣している点は評価できる。								
機関名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減 (26→2019)																																																		
医師	3	4	4	4	7	9	+6																																																		
看護師	5	4	5	6	7	9	+4																																																		
業務調整員	3	4	4	5	7	7	+4																																																		
合計	11	12	13	15	21	25	+14																																																		
18	1-6-2 在宅医療支援体制の充実 (1) レスパイトケアのための短期	* 在宅医療支援体制の充実に関する事項 平成28年7月から県内の在宅で生活する重症心身障がい児・者と契約し、レスパイトケアを実施しており、定員2人(空						IV	レスパイトケアの充実が評価できる。																																																

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価				評価委員会の検証																																		
		自己 評価	論 点	検 証(案)																																				
	<p>入所施設の整備・充実 在宅で重症心身障がい児を抱える家族の精神的・身体的負担の軽減を図るためのレスパイトケア(障がい児を在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス)を実施する。</p>	<p>床利用型)で短期入所の受入れを開始した。また、利用者からの要望や利用率の高さを勘案し、平成29年11月に定員を2人から3人に増員した。</p> <p>家族に対しては、在宅移行に向けて、家族の障がいの受容や在宅療育に必要な技術等を指導するための教育入所用居室2室の確保や指導マニュアルの作成等、受入体制を整えている。</p> <p>在宅移行後の容態悪化等に対しては、かかりつけ医療機関への受診及び当センターでの救急医療や入院治療等の体制を整備しており、安心して在宅生活が出来るよう医療支援ができています。</p> <p>○ 短期入所施設の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>2019年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>契約者数</td> <td>76人</td> <td>80人</td> <td>81人</td> <td>87人</td> </tr> <tr> <td>利用延人員</td> <td>118人</td> <td>181人</td> <td>219人</td> <td>215人</td> </tr> <tr> <td>利用延日数</td> <td>420日</td> <td>712日</td> <td>897日</td> <td>908日</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>76.6%</td> <td>80.8%</td> <td>81.9%</td> <td>82.7%</td> </tr> <tr> <td>予約率</td> <td>84.5%</td> <td>88.3%</td> <td>90.0%</td> <td>91.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※定員 H29.11:2人 → 3人</p>	項目	28年度	29年度	30年度	2019年度	定員	2人	3人	3人	3人	契約者数	76人	80人	81人	87人	利用延人員	118人	181人	219人	215人	利用延日数	420日	712日	897日	908日	利用率	76.6%	80.8%	81.9%	82.7%	予約率	84.5%	88.3%	90.0%	91.0%			
項目	28年度	29年度	30年度	2019年度																																				
定員	2人	3人	3人	3人																																				
契約者数	76人	80人	81人	87人																																				
利用延人員	118人	181人	219人	215人																																				
利用延日数	420日	712日	897日	908日																																				
利用率	76.6%	80.8%	81.9%	82.7%																																				
予約率	84.5%	88.3%	90.0%	91.0%																																				
21	<p>2-1-1-3 事務部門の専門性の向上 経営管理機能を強化するため、病院事務に精通し、経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保する。 また、専門性の向上に計画的に取り組むため、診療報酬等の医事業務や診療情報分析、病院経営に係る財務経営分析、危機管理等専門性の高い業務に関する研修等に参加し、事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を育成する。</p>	<p>病院運営や医療事務に精通した事務職員を確保するため、プロパー職員を計画的に採用した。特に、診療情報管理や情報システム、庁舎管理に精通する職員を中途採用することで、更なる専門性の向上に努めた。</p> <p>また、専門性の向上のため、プロパー職員に対して職務に関連する研修への参加を継続的に支援している。 (診療情報管理士、医療経営士)</p>	IV		<p>今後の病院にとってプロパーの事務職員は極めて大切であり、確実のその方向に進んでいる点は評価できる。</p>																																			

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価						自己 評価	評価委員会の検証	
				論 点	検 証 (案)					
		○ 事務職員数 単位：人								
		項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年 度	増減 (26→ 2019)	
		プロパー職員	41	53	54	57	64	62	+21	
		うち、診療情報管理士	4	5	5	6	7	10	+6	
		うち、経営管理士	1	1	1	1	1	2	+1	
		県(派遣)職員	12	11	9	8	6	5	▲7	
		計	53	64	63	65	70	69	+16	

項目No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																																																				
		自己評価	論点	検証(案)																																																																																								
25	2-2-2 収入の確保 (1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 長期入院の患者数を常に把握しながら空床管理マニュアルを活用し、あわせて地域の医療機関を訪問しながら、病診連携によって退院調整を促進し、平均在院日数の短縮及び病床利用率の向上に努める。 また、医療機器については、開放型病院登録医師(地域開業医師)との「病診連携」、「病病連携」を密にし、検査・外来予約制度を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図る。あわせて、手術室の効率化を図り、手術件数の増加による収益確保に努める。	収入の確保については、医療制度の影響による平均在院日数短縮に伴い、病床利用率は減少傾向ではあるが、適切な病床管理による病床利用率の向上に努めたほか、診療報酬改定により新設、増点された項目について迅速な対応を行うことで入院診療単価の増額による収益確保に努めた。 また、平成24年3月にはDPC医療機関群Ⅱ群(現：特定病院群)に指定され、それを維持していることで、入院診療単価の増額に貢献している。 未収金の発生防止対策として、以下のような取組を実施している。 ・入院説明の際に、医療相談員による入院にかかる概算費用の提示や福祉制度の説明の実施 ・救急搬送患者に対する身元確認、保険確認の早期実施及び高額な患者負担とならないように医療保険制度の活用の紹介 ・出産に伴う入院費については、出産一時金直接払制度を全ての出産に利用するように徹底 ・病棟による支払確認後の退院 ・休日退院患者に対する退院前入院費用計算の実施及び請求 ・クレジットカード決済の導入による支払機会の拡大 未収金が発生した場合の回収については、月2回の督促状の発布及び電話・臨宅による催促を行っている。 回収が困難な未収金については、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げている。 ○ 収入関係数値の状況	IV	患者数、診療単価ともに増加しており、結果として収入確保ができています。点検は評価できる。 窓口未収の貸倒れ未然防止策(預り金制度や院内専用電子マネーの導入など)を積極的に検討されたい。																																																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>2019年度</th> <th>増減(26→2019)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外来</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>329,128</td> <td>340,070</td> <td>333,749</td> <td>336,658</td> <td>336,232</td> <td>343,120</td> <td>+13,992</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>1,349</td> <td>1,399</td> <td>1,373</td> <td>1,380</td> <td>1,378</td> <td>1,418</td> <td>+69</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>4,940</td> <td>5,449</td> <td>5,826</td> <td>5,818</td> <td>5,969</td> <td>6,264</td> <td>+1,324</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>15,011</td> <td>16,023</td> <td>17,458</td> <td>17,282</td> <td>17,752</td> <td>18,257</td> <td>+3,246</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">入院</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>194,126</td> <td>189,348</td> <td>189,660</td> <td>192,924</td> <td>191,035</td> <td>194,649</td> <td>+523</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>532</td> <td>517</td> <td>520</td> <td>529</td> <td>523</td> <td>532</td> <td>±0</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>14,687</td> <td>14,759</td> <td>14,802</td> <td>15,338</td> <td>16,053</td> <td>16,556</td> <td>+1,869</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>75,659</td> <td>77,948</td> <td>78,044</td> <td>79,501</td> <td>84,032</td> <td>85,055</td> <td>+9,396</td> </tr> </tbody> </table>								項目		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減(26→2019)	外来	患者数	人	329,128	340,070	333,749	336,658	336,232	343,120	+13,992	平均患者数	人/日	1,349	1,399	1,373	1,380	1,378	1,418	+69	診療額	百万円	4,940	5,449	5,826	5,818	5,969	6,264	+1,324	診療単価	円/日	15,011	16,023	17,458	17,282	17,752	18,257	+3,246	入院	患者数	人	194,126	189,348	189,660	192,924	191,035	194,649	+523	平均患者数	人/日	532	517	520	529	523	532	±0	診療額	百万円	14,687	14,759	14,802	15,338	16,053	16,556	+1,869	診療単価	円/日	75,659	77,948	78,044	79,501	84,032	85,055	+9,396
項目		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	増減(26→2019)																																																																																				
外来	患者数	人	329,128	340,070	333,749	336,658	336,232	343,120	+13,992																																																																																			
	平均患者数	人/日	1,349	1,399	1,373	1,380	1,378	1,418	+69																																																																																			
	診療額	百万円	4,940	5,449	5,826	5,818	5,969	6,264	+1,324																																																																																			
	診療単価	円/日	15,011	16,023	17,458	17,282	17,752	18,257	+3,246																																																																																			
入院	患者数	人	194,126	189,348	189,660	192,924	191,035	194,649	+523																																																																																			
	平均患者数	人/日	532	517	520	529	523	532	±0																																																																																			
	診療額	百万円	14,687	14,759	14,802	15,338	16,053	16,556	+1,869																																																																																			
	診療単価	円/日	75,659	77,948	78,044	79,501	84,032	85,055	+9,396																																																																																			

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価								自己 評価	評価委員会の検証																																																																					
											論 点	検 証(案)																																																																				
		在院日数	日	12.2	11.7	11.9	12.0	11.4	11.3	▲0.9																																																																						
		病床利用 率	%	90.1	87.7	87.0	87.5	86.7	86.7	▲3.4																																																																						
		※病床利用率 分子：延べ入院患者数 (=当日末在院患者数+退院患者数) 分母：運用病床数×日数																																																																														
		(2) 未収金の発生防止対策等 未収金の発生防止対策として、退院時請求・支払いが行える体制及び支払いに関する相談体制の確保・充実を図る。また、回収困難が見込まれる未収金に対する弁護士法人への債権回収業務を委託することで、円滑な回収を図る。																																																																														
		○ 回収実績 (年度末現在) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>2019年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額(千円)</td> <td>147,186</td> <td>157,246</td> <td>165,886</td> <td>176,609</td> <td>187,462</td> </tr> <tr> <td>回収金額(千円)</td> <td>59,950</td> <td>66,898</td> <td>75,693</td> <td>80,746</td> <td>85,310</td> </tr> <tr> <td>回収率(%)</td> <td>40.7</td> <td>42.5</td> <td>45.6</td> <td>45.7</td> <td>45.5</td> </tr> </tbody> </table>											項目/年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度	委託金額(千円)	147,186	157,246	165,886	176,609	187,462	回収金額(千円)	59,950	66,898	75,693	80,746	85,310	回収率(%)	40.7	42.5	45.6	45.7	45.5																																												
項目/年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2019年度																																																																											
委託金額(千円)	147,186	157,246	165,886	176,609	187,462																																																																											
回収金額(千円)	59,950	66,898	75,693	80,746	85,310																																																																											
回収率(%)	40.7	42.5	45.6	45.7	45.5																																																																											
		○ 未収金の発生状況 (5月末現在) 金額単位：千円 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">26年度</th> <th colspan="2">27年度</th> <th colspan="2">28年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>657</td> <td>60,094</td> <td>522</td> <td>50,184</td> <td>415</td> <td>46,813</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>358</td> <td>22,209</td> <td>319</td> <td>24,854</td> <td>263</td> <td>30,739</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,015</td> <td>82,303</td> <td>841</td> <td>75,038</td> <td>678</td> <td>77,552</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">2019年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>406</td> <td>50,843</td> <td>400</td> <td>44,535</td> <td>357</td> <td>46,723</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>246</td> <td>19,660</td> <td>279</td> <td>33,424</td> <td>263</td> <td>22,281</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>652</td> <td>70,503</td> <td>679</td> <td>77,959</td> <td>620</td> <td>69,004</td> </tr> </tbody> </table>											項目	26年度		27年度		28年度		件数	金額	件数	金額	件数	金額	過年分	657	60,094	522	50,184	415	46,813	現年分	358	22,209	319	24,854	263	30,739	合計	1,015	82,303	841	75,038	678	77,552	項目	29年度		30年度		2019年度		件数	金額	件数	金額	件数	金額	過年分	406	50,843	400	44,535	357	46,723	現年分	246	19,660	279	33,424	263	22,281	合計	652	70,503	679	77,959	620	69,004
項目	26年度		27年度		28年度																																																																											
	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																																																										
過年分	657	60,094	522	50,184	415	46,813																																																																										
現年分	358	22,209	319	24,854	263	30,739																																																																										
合計	1,015	82,303	841	75,038	678	77,552																																																																										
項目	29年度		30年度		2019年度																																																																											
	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																																																										
過年分	406	50,843	400	44,535	357	46,723																																																																										
現年分	246	19,660	279	33,424	263	22,281																																																																										
合計	652	70,503	679	77,959	620	69,004																																																																										